

4月から新年度を迎え、新たな環境、新たなメンバーで仕事を始める方も多いと思います。新

過ごしていました。

しい仲間との出会いは楽しいですが、時には勝手が違って戸惑う時もあると思います。私がそんなときに思い出すのがこの2つの経験です。

マネジャーになったばかりの時、うまくコミュニケーションができないと感じるメンバーがいま

女性管理職が語る

相手が見ている景色を想像

ぬまた・あやこ 2001年、コンパックコンピュータ（現日本HP）入社。Eコマースやマーケティングの部署を経て16年にコンシューマーPC製品部へ異動。17年5月から現職。

押し付けられていると思

われると、そこから新しいアイデアを広げること

はなかなか難しいもので

す。多少時間はかかって

も、違う考えや視点を持つ

った人と積極的に交わる

ことで新たな創造は生ま

れます。先入観なく多様な

な視点を受け入れる大切

さを感じた経験でした。

また、当社では1年に

度「360度フィード

バック」というものがあ

り、上司だけでなく、同僚

や部下からも、その社員

の良い点や課題などを

押し付けられていると思

われると、そこから新しい

アイデアを広げること

はなかなか難しいもので

す。多少時間はかかって

も、違う考えや視点を持つ

った人と積極的に交わる

ことで新たな創造は生ま

れます。先入観なく多様な

な視点を受け入れる大切

さを感じた経験でした。

また、当社では1年に

度「360度フィード

バック」というものがあ

り、上司だけでなく、同

僚や部下からも、その社

員の良い点や課題などを

押し付けられていると思

われると、そこから新しい

アイデアを広げること

はなかなか難しいもので

す。多少時間はかかって

も、違う考えや視点を持つ

った人と積極的に交わる

ことで新たな創造は生ま

れます。先入観なく多様な

な視点を受け入れる大切

さを感じた経験でした。

また、当社では1年に

度「360度フィード

バック」というものがあ

り、上司だけでなく、同

僚や部下からも、その社

員の良い点や課題などを

押し付けられていると思

われると、そこから新しい

アイデアを広げること

はなかなか難しいもので

す。多少時間はかかって

も、違う考えや視点を持つ

った人と積極的に交わる

ことで新たな創造は生ま

れます。先入観なく多様な

な視点を受け入れる大切

さを感じた経験でした。

また、当社では1年に

度「360度フィード

バック」というものがあ

り、上司だけでなく、同

僚や部下からも、その社

日本HP 事業本部 部長
沼田 綾子氏



くかなり、その人は得意分野を生かし、素晴らしい成果をだすようになっていきました。

思い返せば、話し合いが難しいと感じていたのは相手も同じだったのかもしれません。価値観を

「複雑な事をわかりやすくインパクトのある言葉で伝えること、自分視点ではなく相手の興味に合

つながるのではないで

うように説明したり、コミュニケーションしたりすること」でした。

当時コーチングをしてくれているトレーナーの方に相談をしたところ、次のように説明してくれました。

「沼田さんが見ている窓というものがあるとして、他の人は同じ景色を2階の窓や違う位置の窓から見ている、同じ景色でも全く違った風景が見えているのかもしれない。自分の窓からだけ

でなく、いろいろな窓から物事を見られるようにすることがあなたの成長につながるのではないで

か、想像力を働かせるように心がけました。

職場の悩みの大部分はコミュニケーションでも言われます。なん

だかしくりいかなないと感じたときは、相手の立場に立って聴くことを意識し、相手が見ている景色を想像してみる。新しい環境、異なる視点や考え方を持つ人との出会いを楽しむヒントです。